



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社 ニレコ
 コード番号 6863 URL <http://www.nireco.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 久保田 寿治
 (氏名) 裕 光司
 TEL 042-642-3111
 配当支払開始予定日 平成29年12月8日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,565	8.2	204	71.8	257	94.4	173	186.1
29年3月期第2四半期	3,295	△4.4	119	△47.0	132	△47.2	60	△65.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 299百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 25百万円 (△86.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	23.55	23.39
29年3月期第2四半期	8.33	8.28

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
30年3月期第2四半期	13,914		12,080		86.0
29年3月期	14,127		11,817		82.9

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 11,966百万円 29年3月期 11,713百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	8.1	620	15.4	720	25.8	500	35.6	67.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	8,305,249 株	29年3月期	8,305,249 株
30年3月期2Q	889,187 株	29年3月期	946,175 株
30年3月期2Q	7,385,376 株	29年3月期2Q	7,295,559 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項は添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成29年11月17日(金)に当社ホームページに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州を中心に景気の回復が鮮明になり、総じて拡大傾向が続きましました。わが国経済も、好調な世界経済を背景とした企業業績の伸びや堅調な個人消費により緩やかな回復基調が続きましました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要取引先であります鉄鋼業、化学工業、印刷業、紙加工業、電子部材メーカー、食品メーカーなどの設備投資に向けた動きは、需要の伸びを背景に堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、いかなる環境下においても成長できる体制の実現を目指し、海外販売の拡大、食品関連市場の開拓を進めるとともに、当社グループが設立以来培ってきたセンシング及び画像処理技術の強化に注力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高3,565百万円（前年同期比108.2%）、営業利益204百万円（前年同期比171.8%）、経常利益257百万円（前年同期比194.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益173百万円（前年同期比286.1%）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① プロセス事業

当事業の主要取引先であります鉄鋼業界は、鋼材需給バランスが改善傾向にあるものの、過剰生産能力問題は解消されておらず、鉄鋼メーカーの設備投資動向に影響を及ぼしております。このような状況の下、当社グループは、国内については、生産継続に欠かせない老朽設備の修理・更新、部品販売といったメンテナンス需要の取り込みに引き続き注力するとともに、鉄鋼製品の品質と生産効率向上につながる製品群の積極的な提案に努めました。また、海外については、韓国でメカトロ事業を開始するなど、アジア諸国の高級鋼材メーカーにおけるシェア拡大に向けた子会社の環境整備や顧客開拓を進めました。

その結果、当事業の売上高は1,198百万円（前年同期比102.2%）、セグメント利益は241百万円（前年同期比168.3%）となりました。

② ウェブ事業

当事業の主要取引先であります高機能フィルム業界は、フラットパネルディスプレイや二次電池需要の拡大に伴い、電子部材の増産に向けた設備投資が拡大しました。もう一方の主要取引先であります印刷業界は、食品向け軟包装市場の設備投資が堅調に推移しました。このような状況の下、当社グループは、高機能フィルム業界並びに食品向け軟包装市場へ向けて印刷絵柄を基準とした位置制御装置などの販売を強化するとともに、修理・整備、部品販売等のサービス需要獲得、部材の共通化によるコスト削減に引き続き注力しました。

その結果、当事業の売上高は1,593百万円（前年同期比112.3%）、セグメント利益は360百万円（前年同期比141.4%）となりました。

③ 検査機事業

当事業の主要取引先であります高機能フィルム業界は、フラットパネルディスプレイや二次電池などの電子部材品質検査装置に対する需要が堅調に推移しました。もう一方の主要取引先であります食品関連業界は、食の安全・品質に対する意識の高まりを背景に食品検査装置に対する需要の拡大が続きましました。このような状況の下、当社グループは、高機能フィルム業界に対し、無地検査装置の豊富なラインアップによる提案を進めました。また、食品関連業界に対し、潜在需要の開拓に向けて外観検査装置の積極的な提案に努めました。

その結果、当事業の売上高は694百万円（前年同期比100.2%）、セグメント損失は13百万円（前年同期はセグメント損失21百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて212百万円減少し、13,914百万円となりました。これは主に仕掛品の増加136百万円、投資有価証券の増加121百万円、現金及び預金の増加111百万円、その他流動資産の増加57百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少465百万円、商品及び製品の減少85百万円、建物及び構築物の減少43百万円、のれんの減少37百万円などがあった事によります。

また、負債は前連結会計年度末に比べて475百万円減少し、1,834百万円となりました。これは主にその他流動負債の増加123百万円、繰延税金負債の増加36百万円、退職給付に係る負債の増加32百万円、工事損失引当金の増加28百万円、支払手形及び買掛金の増加24百万円があったものの、長期借入金の減少340百万円、1年以内返済予定の借入金の減少208百万円、未払消費税等の減少119百万円があった事によります。

純資産は前連結会計年度末に比べて262百万円増加し、12,080百万円となりました。これは主に時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加108百万円、自己株式の売却による増加28百万円、退職給付に係る調整累計額の増加13百万円があった事や、利益剰余金が配当金の支払いにより74百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益173百万円の増加等により99百万円増加した事によります。

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)につきましては、営業活動により685百万円増加し、投資活動により38百万円、財務活動により626百万円減少しました。その結果、当連結会計年度末の資金残高は前連結会計年度末と比べて21百万円増加し、4,803百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの概況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は685百万円(前年同期比276百万円の増加)となりました。これは主なフローアウトに未払消費税等の減少109百万円、法人税等の支払額100百万円、たな卸資産の増加82百万円などがあったものの、主なフローインとして売上債権の減少464百万円、税金等調整前当期純利益257百万円、減価償却費111百万円などがあった事によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は38百万円(前年同期比74百万円の減少)となりました。これは主に定期預金の払い戻しによる収入359百万円、投資有価証券の売却による収入32百万円、貸付金の回収による収入11百万円などがあったものの、定期預金の預け入れによる支出437百万円などがあった事によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は626百万円(前年同期比478百万円の増加)となりました。これは主に自己株式の売却による収入40百万円があったものの、長期借入金の返済による支出548百万円、配当金の支払額74百万円、社債の償還による支出30百万円があった事によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、概ね当初予想した範囲で推移しており、前回発表(平成29年5月18日決算短信)の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,130,803	5,242,232
受取手形及び売掛金	3,007,477	2,542,214
有価証券	14,164	-
商品及び製品	821,943	736,402
仕掛品	353,250	489,549
原材料及び貯蔵品	396,934	429,677
繰延税金資産	143,787	166,904
その他	144,576	201,955
貸倒引当金	△23,664	△20,208
流動資産合計	9,989,273	9,788,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,271,442	1,227,545
機械装置及び運搬具(純額)	45,308	41,344
工具、器具及び備品(純額)	191,608	156,783
土地	644,942	644,942
有形固定資産合計	2,153,301	2,070,616
無形固定資産		
のれん	376,582	338,924
リース資産	35,605	21,571
その他	47,460	62,324
無形固定資産合計	459,648	422,820
投資その他の資産		
投資有価証券	1,254,086	1,375,690
長期貸付金	141,081	130,400
破産更生債権等	18,704	18,704
その他	169,997	169,231
貸倒引当金	△58,913	△61,323
投資その他の資産合計	1,524,957	1,632,703
固定資産合計	4,137,906	4,126,139
繰延資産		
社債発行費	399	-
繰延資産合計	399	-
資産合計	14,127,579	13,914,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	325,017	349,252
1年内返済予定の長期借入金	328,614	119,988
1年内償還予定の社債	10,000	-
リース債務	22,733	14,380
未払費用	384,099	388,220
未払法人税等	132,435	129,567
未払消費税等	171,697	52,174
役員賞与引当金	17,170	13,000
工事損失引当金	46,044	74,884
その他	191,278	315,217
流動負債合計	1,629,090	1,456,685
固定負債		
社債	20,000	-
長期借入金	500,331	160,044
リース債務	13,379	7,476
役員退職慰労引当金	7,326	1,820
退職給付に係る負債	65,301	97,808
繰延税金負債	74,952	110,993
固定負債合計	681,289	378,143
負債合計	2,310,379	1,834,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,072,352
資本剰余金	4,124,646	4,124,646
利益剰余金	4,990,544	5,090,303
自己株式	△632,152	△603,263
株主資本合計	11,555,392	11,684,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,367	301,568
為替換算調整勘定	65,079	66,760
退職給付に係る調整累計額	△99,873	△86,127
その他の包括利益累計額合計	158,573	282,201
新株予約権	21,263	29,407
非支配株主持分	81,970	84,391
純資産合計	11,817,199	12,080,039
負債純資産合計	14,127,579	13,914,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,295,710	3,565,828
売上原価	2,222,169	2,172,281
売上総利益	1,073,541	1,393,546
販売費及び一般管理費	954,235	1,188,635
営業利益	119,306	204,911
営業外収益		
受取利息	6,526	7,483
受取配当金	11,547	15,175
補助金収入	-	33,251
その他	12,642	5,866
営業外収益合計	30,716	61,775
営業外費用		
支払利息	2,074	5,452
為替差損	6,976	785
環境対策費	4,740	-
その他	3,663	2,764
営業外費用合計	17,454	9,002
経常利益	132,568	257,684
特別損失		
投資有価証券評価損	42,995	-
特別損失合計	42,995	-
税金等調整前四半期純利益	89,573	257,684
法人税等	33,811	80,400
四半期純利益	55,761	177,284
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,029	3,364
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,791	173,919

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	55,761	177,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,296	108,200
為替換算調整勘定	△94,981	737
退職給付に係る調整額	32,066	13,746
その他の包括利益合計	△30,618	122,684
四半期包括利益	25,143	299,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,275	297,547
非支配株主に係る四半期包括利益	△18,131	2,420

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	89,573	257,684
減価償却費	91,979	111,782
のれん償却額	—	37,658
長期前払費用償却額	4,200	3,993
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,500	△4,170
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,178	△1,063
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△14,890	28,839
退職給付に係る資産負債の増減額	5,857	32,507
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△12,086	△5,506
受取利息及び受取配当金	△18,073	△22,658
支払利息	2,074	5,452
為替差損益 (△は益)	4,430	△583
投資有価証券売却損益 (△は益)	729	△258
投資有価証券評価損益 (△は益)	42,995	—
有形及び無形固定資産除却損	1,187	5
売上債権の増減額 (△は増加)	183,881	464,909
たな卸資産の増減額 (△は増加)	95,133	△82,220
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	14,803	△79,032
仕入債務の増減額 (△は減少)	△48,811	22,921
未払費用の増減額 (△は減少)	△60,703	4,121
未払消費税等の増減額 (△は減少)	68,775	△109,441
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	37,965	91,686
その他	4,096	8,517
小計	480,438	765,147
利息及び配当金の受取額	18,310	22,340
利息の支払額	△2,229	△2,973
法人税等の支払額	△87,887	△100,816
法人税等の還付額	—	1,868
営業活動によるキャッシュ・フロー	408,632	685,566
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△227,657	△437,609
定期預金の払戻による収入	176,406	359,722
固定資産の取得による支出	△27,354	△8,645
投資有価証券の取得による支出	△59,075	△2,193
投資有価証券の売却による収入	11,480	32,382
貸付けによる支出	△480	—
貸付金の回収による収入	11,906	11,311
その他の支出	△1,780	△2,901
その他の収入	3,165	9,339
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,389	△38,594

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△75,994	△548,913
社債の償還による支出	-	△30,000
自己株式の売却による収入	18,216	40,977
自己株式の取得による支出	-	△10
配当金の支払額	△73,962	△74,178
その他	△16,224	△14,255
財務活動によるキャッシュ・フロー	△147,963	△626,378
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43,768	871
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	103,510	21,464
現金及び現金同等物の期首残高	4,333,845	4,781,546
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,437,355	4,803,010

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,172,299	1,418,738	693,682	3,284,719	10,991	3,295,710	-	3,295,710
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,172,299	1,418,738	693,682	3,284,719	10,991	3,295,710	-	3,295,710
セグメント利益 又は損失 (△)	143,599	255,074	△21,326	377,347	△12	377,335	△258,029	119,306

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△258,029千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,198,173	1,593,076	694,985	3,486,234	79,594	3,565,828	—	3,565,828
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,198,173	1,593,076	694,985	3,486,234	79,594	3,565,828	—	3,565,828
セグメント利益 又は損失(△)	241,655	360,673	△13,161	589,167	△57,387	531,780	△326,869	204,911

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△326,869千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。